

その13 VR界の大イベント「Vket」を主催する、
動く城のフィオさんに会ってみた

漫画：まいてい 999

VR空間の一面に佇む
IPSJブース…



この人は稲見編集長
編集長アバターが24時間鎮座!?

そう…ここは広大な3D空間の中に、個人や企業が創作物を思い思いに展示して

気に入ったものがあればWEBサイト経由で実際に購入もできるという
VR界世界最大の催しが…



バーチャルマーケット
(略してVket)である!!!



取材者：かずちゃん(IPSJ) & まいてい999(絵描き) おまけのおきゅたん

2018年から半年に1回開催して
今回で5回目です!



自分で作成した3Dのアバターを
展示・販売できる、多くの企業の協賛も
頂いている大規模なお祭りイベントです!

Vket主催
VR法人HIKKY
動く城のフィオさん

Vketをはじめた
きっかけは?

ちょうど2018年あたりが世の中的にも
VRの転機でした

低価格
VR機器の発売



VR業界の拡大



いくつかのVRコミュニケーション
サービスの開始

身体的な理由からの
VRで社会復帰

バーチャルキャラクターの
YouTubeなどでの活動
(VTuberの走り)

そして、混沌としたアバターの
入手環境を改善しようという意識が高まってきて

違法にゲームなどから
抽出されたキャラ

用途(規約)が
合わないデータの
無断流用



「アバター
作ってみた!」

「アバターで
使ってOK!」

VR用アバター用途を前提とした
3Dモデルの販売・配布が流行り始めました

そこでVketという共通の作品発表の場があれば
アバターを求める人やVRに興味のある企業とクリエイターが巡り合う
きっかけとなるのではと思いました

さらにリアルでのウィンドウショッピングのように
知らなかった作品との偶然の出会いも
VRだと実現できたりします



出展者の中には、Vketをきっかけに
3Dモデリングを始めた人も
結構いますよ！

アバター以外にも小物とか何でも
ありだから新しい出会いも多いよ!!



Vketがきっかけで仕事に繋がった
クリエイターさんもいます？



いらっしゃいます！

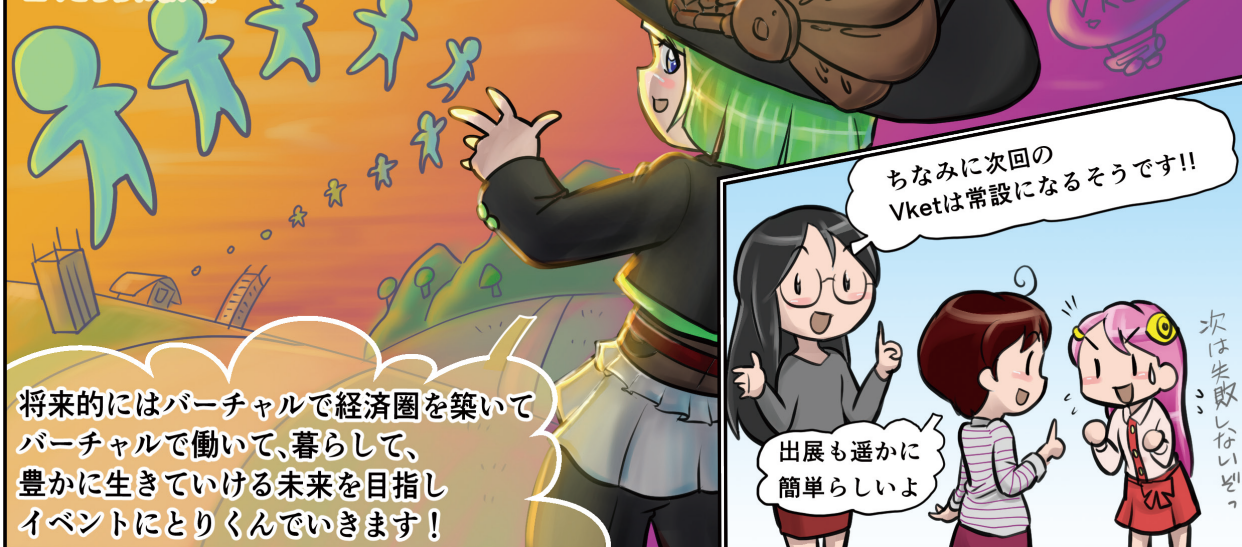
例えば、前回に個人ブースを出した方が
企業の方の目に留まって、Vket5では
協賛企業ブースの制作に携わったりしました



Vketの作品が評価されて
案件につながることはとても多いです！

Vket制作は、ごく一部の方を除いてバーチャルだけで全て実現できています

現実での、国・場所・時間・性別・年齢・見た目に
全くとらわれない!!



将来的にはバーチャルで経済圏を築いて
バーチャルで働いて、暮らして、
豊かに生きていける未来を目指し
イベントにとりくんでいきます！

ちなみに次回の
Vketは常設になるそうです!!

出展も遥かに
簡単らしいよ

次は失敗
しないぞ!!



まいいて999 twitter: @mighty999

IT関連の会社員。80年代のマイコン・パソコンブーム
時代をネイティブに生き当時のPC雑誌に4コマや
イラストをハガキ投稿しまくった結果、今に至る。
2014年から「おきゅたん」を生み出して今のVR界
全体を生温かく見守っているニッチ大王、でも貧乏。



バーチャルマーケット 5
<https://www.v-market.work/v5/>



(株) HIKKY
<https://www.hikky.life/company>